

★ まちづくり ★ ニュース



ホームページ

<http://www.geocities.co.jp/HeartLand-Icho/3732/>

130号



2011年3月17日

ときわ台の景観を守る会

ときわ台まちづくり委員会

代表 鈴木博之 近藤洋子

事務局 島田晴子 tel・fax 3960 - 3869

協力金振込先 郵便局00110-3-739728 ときわ台の景観を守る会

○ 未曾有の三陸海岸沖地震・津波の犠牲者に心から哀悼の意を表し、被災者の皆さんの一日も早い立ち直りを望みます

3月11日（金）午後の大災害に、今も大勢の人がテレビに釘付けになっていると思います。恐ろしい津波の光景に身の毛がよだつ思いです。家族を失い、家・財産を失った被災者の方たちの思いは察するに余りあります。

それにしても日本人が我慢強く、混乱も略奪も起きないことを誇らしく思います。世界でも日本人の優れた資質に賞賛の声が高いことが、わずかな慰めとなっています。

ただ原子力発電関係者の隠蔽体質だけは情けなく、この先も案じられるものでした。

○ 藤和マンション行政訴訟は控訴へ

東京地裁の判決は時代遅れで問題山積み、

26日（土）夜、急遽原告会議を開き、出席者全員の賛成で控訴が決まり、3月3日付けで控訴しました。原告に新たに参加したい方もいましたが、印紙代節約で絞っていた元の原告34名の中から出さねばなりません。32名が控訴の原告になりました。

建物が完成してしまい、いつも見慣れてしまうと、もういいじゃないか、いつまで裁判やっているんだ、という日本人特有の、長いものに巻かれていく体質が出てきて足を引っ張ります。「建て得」はそうして生まれ、根本的問題はなにも解決されずに済まされていきます。特に「オカミ」に対して弓引くとは、という前近代的な感覚が残っているのは嘆かわしいことです。今後ともご支援を！ 地裁判決の問題点を幾つか裏面に書きました。

○ 前野町で爆弾発見！

21日（月）除去作業で避難

前野町2丁目の元ペンタックス社跡地では、土壌浄化作業の途中、アメリカ軍が65年前に落とした250kgの不発弾が見つかった。

7mも下に埋もれており、言い伝え程度で地主も代わったため、今回の発見まで何も知らず工場が建っていたわけである。

21日朝9時からの撤去作業のため、付近住民には8時からの避難命令が出た。

関係のない常盤台住民も、当日は付近に近づかないよう気をつけたい。

○ バザーのお知らせ

4月24日（日）統一地方選挙の日

23日（土）品物受付け1～3時

東北巨大地震のため延期となった地域もあるようですが、一応その日に久しぶりのバザーを町会事務所を借りて行う予定。

恐れ入りますが、ゴミに出す前にバザーに出してみよう、ではなく、自分も惜しいけれどバザーに寄付しよう、という気持ちでお寄せ下さい。衣類は新品か洗濯した新しいものに限らせて下さい。

当日のお買い上げも宜しく願います。

問題1、原告適格の問題

常盤台住民には「商業地にまで及ぶ法的保護に値する景観利益」がありますが、駅前高層マンションは著しく景観を損ねているにも拘らず、住民が原告となる資格がない、と断じました。私たちには自分たちの街のことを決定するどころか問題にする資格もないのでしょうか？この判決は、景観問題について国立市の高裁判決にまで後退してしまいました。又、民主主義の基本を踏みにじったものといえるでしょう。

問題2、道の問題

安全条例を満たすためだけの長さの道（たった10m）を付ければ何でもOKでしょうか？これが許されるなら、常盤台のように計画された市街区にさえ、あんな風にひどい光景が展開され、次々と景観は破壊されます。

問題3、安全性の問題

今回の判決は、区や業者の主張を丸呑みにしたものでした。一つに周辺の道に関わる安全性の問題があります。マンションからの道は川越街道への広い道に有効に接続している、というのですが、そこに開かずの踏切があることを全く考慮していません。消防署は南口です。

問題4、建物完成に伴う訴えの利益の消失

建築確認を下ろした日本建築センターはこれによって裁判を外れ、是正命令を出すべき板橋区だけが責任を追及されます。そうなると、民間が建築確認を出せる資格はないのでは？

日本の建築制度や行政訴訟制度は欠陥だらけなのです。

地震の感想いろいろ

・常盤台では石塀が一箇所崩れていた程度で、殆どが一階は異常なく、二階の部屋で高い所の物が落ちたぐらい。低層住宅街の有難さだろう。

・高層マンションの上階に行くほど、揺れはひどく、食器などが散乱したという。お年寄りほど上階を買い求めるそうだが、家具の倒壊などの中で恐怖を味わったのではないか。

・区役所において外に避難した人の話では、周囲の高層ビルの揺れが不気味だったのと、高速道路が今にも壊れそうに波打って、阪神大震災の光景がダブったそうだ。

・何時間も歩いて帰宅難民を経験した人、家族もいたことだろう。沿道の人の親切に接し、自分もいつか同じようにお返しをしたいと言っていた若者に心がなごむ。

・高層ビルでは倒壊しなければ少しの傾きなどはそのままなので、エレベーターが使えなくなるビルがある。こういうことは殆ど知らされていない、とあるコメンテーターの言。

・次に予想される関東直下型地震に備える良い練習だという人も。

・「天罰だ」とまたまた暴言した石原都知事は一応は謝罪したが、都民の良識が問われる都知事選が迫っている。

・計画停電では板橋区は第3グループに入っている。十五日も十六日も実際はなかった。ネットで調べたら常盤台は外れていた。当り外れはどういう理由でなのだろう。

・原発事故は恐ろしい。地震頻発国が取るべき道ではなかったのだろう。どんなに不便でも。

常盤台公園のはなづくり

クリスマスローズの花が素晴らしい！冬枯れの芝生の中で、クロッカスが咲いています。水仙もチューリップもいっせいに若緑の葉を出し、これから毎日楽しみます。

先月号「常盤台公園のはなづくり」に二人の方からご意見を頂きました。

Aさんいわく、「冬枯れの光景がいいはずはない。冬は冬に咲く花があるのだから、公園はいつもきれいな花があったほうが良いのでは？」

ごもっともです。冬枯れが良いなどというのは花作りの会でもごく少数意見でして、公園課もせっせと冬向きの苗を提供してくれます。ただ季節感はある方がよいというか、それが自然でしょう。後半の部分にも真面目な方からご意見がありました。「三シの神器」などと冗談を言ったのがいけなかったようです。

Bさんいわく、「私自身は後十年、自分のために趣味をしまくと決め、燃えています。少々おしゃれをしてみたら楽しくなりました。自分を元氣付けるため外見を綺麗にしようという場合あり、仕事のため綺麗にしなければならない場合もあります」

ごもっともです。

定例会四月九日（土）七時

「ギャラリイ服部」にて